

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	高鍋町持田地域まちづくり協議会				開始年度	平成19年度	
基本目標	快適でうるおいのある生活文化環境の整備				終了年度	平成21年度	
担当課(局)	政策推進課	担当係	総合政策係	記入者	中里祐二	評価者	森 弘道
20年度決算	400	千円	21年度予算	350	千円	事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	359 千円		21年度人件費	364 千円		事業従事者数	0.05 人 0.05 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	持田団地建替事業に伴うソフト事業で、下持田地域の交流機会の増進と賑わいの創出を推進する
事業の内容	地域内にある自然や歴史資源、伝統文化を活用したイベントの開催で地域の交流、活性化を図る

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 行事参加者数	地域のさまざまな催しを通し、持田地域の交流、人材育成、活性化が図られる
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 会議回数	農繁期を除いて、毎月定例的に開催。事業終了後も継続させていく。
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	行事参加者数	目標値	400	500	600
		実績値	701	643	
		達成率	175.3%	128.6%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	会議回数	目標値	10	8	8
		実績値	9	8	
		達成率	90.0%	100.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	協議会の発足時、暫くの間は行政主導により開催していくが、徐々に協議会主体で計画・活動していくよう指導していく
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	地域をあげて行事に取り組むことにより、地域内の交流、活性化が促進される
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	現在、地区毎に開催されている盆踊りやスポーツイベントを合同開催することにより、交流行事として持続可能なイベントとなりつつある
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	地域住民の主体性な取り組みを側面からサポートしていく

事務事業名	高鍋町持田地域まちづくり協議会	担当課(局)	政策推進課
-------	-----------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	協議会は国庫補助事業としては3年目の最終年を迎えるが、会計検査の関係もあり完成後3年程度は存続の必要がある。現在、協議会役員の地域活動に対する意気込みは高く、地域内の関係は続くものと思われ、これからもまちづくりのモデルとして期待している。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充	○		
				現状維持			
				縮小			
				廃止			
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎収益事業が行われなければ困難であろうが、将来的には指定管理者の検討も必要と思われる。
	コスト	現状維持	